



# 杉八団報

第 242 号 2003 年 4 月 10 日 発行

日本ボーイスカウト東京連盟

杉並第八回 - 回報 -

登録 No.15-14-01-008+

[本部] 東京都杉並区本天沼 1-27-16

竹之内 寛

[mail] [takesan@muji.biglobe.ne.jp](mailto:takesan@muji.biglobe.ne.jp)

[HP] <http://www.big.or.jp/~sugi8>

## <育成会> 萩窪に杉並8団あり!

三指 この度、小俣会長のご逝去に伴い急遽育成会会長の重責を担うことになりました、今村でございます。

思えば昭和四十三年この萩窪の地に、ボーイスカウト運動を始めようと発起人会を作りました。団の双肩として小俣先生に育成会会長を、そして今は亡き土屋義一氏には回委員長をお願いして発団しました。

由来、団は東京288回から杉並8回への改称を経て数々の実績と歴史を重ね、今年で35年目を迎えるに至っております。この間私も創設発起人、回委員、隊長、育成会役員財政担当など奉仕させて頂きました。その後は顧問、監査など一人の裏方として、この



萩窪に「杉並8回」ありを自負しつつ地域発展のお手伝いをしております。

また特別育成会員の皆様には、物心両面に亘り格別なるご支援ご協力を頂き誠にありがとうございます。

育成会員の皆様には私の如き老骨が今更乍ら現場復帰ということになりますが、精一杯頑張りますので、お力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

結びに杉並8回、スカウト諸君、団ご一統様の益々の弥栄をご祈念申し上げます。

弥 栄

平成15年4月1日

日本ボーイスカウト東京連盟

杉並第8回 育成会会長

今村 国治

## <ビーバー隊>



3/16(日) 隊集会

羽田空港ビッグバード見学+

※スカウト1、リーダー2、保護者1、合計4名と

ちょっと寂しい隊集会でした。

4/3(木) 円卓+

4/6(日) 4月隊集会下見、上野動物園

4/13(日) ゲーム・ソング研究会

4/20(日) 隊集会 上野動物園見学

現在、隊員1名  
隊員募集中です。

## <カブ隊>



3/16(日) 隊集会 平和の森公園(平和島)

フィールドアスレチックで体力づくり

(詳しくは8ページを見てください)

4/6(日) 合同組集会 上萩児童館

カブブックの履修

保護者会: 春キャンプについて

午後リーダー会議

4/13(日) ゲーム・ソング研究会

リーダー参加 オリンピックセンター

4/20(日) 東連スカウトラリー

「大江戸でござる」

スカウト・リーダー参加+

4/26(土)~27(日) **春キャンプ**

水元青年の家にて舎営

葛飾区水元公園内

## <ボーイ隊>

16日 野外料理(逆沢)

各班自分達でメニューを考えて作りました。



23日 GB訓練

座標の記入, 班キャンプ計画書作成

29日~31日 班キャンプ(イーグル班)

30~31日 班キャンプ(ファルコン班)



なんとか形にはなり  
ました。

## <ベンチャー隊> 雪中キャンプ終わる!

[日程] 2003年3月26日(水)~30日(日)

[場所] 谷川岳連峰マチガ沢キャンプ場

[参加者] 笹井、吉田、伊藤、土方、阿出川、池田、  
高木、高仲、山中(L:阿出川、渡辺、林、宮崎)



VS 隊恒例の雪中キャンプ°  
を実施、9名(内新人2名)  
のスカウトが参加した。

2mを超える積雪と氷点  
下の極寒の中、雪洞での  
生活など貴重なキャンプ°体  
験となった。



寒~!

[予定] 5~6月 / 一泊キャンプを計画

## <ローパー隊・OB>

### 前野敦せんばいの たより

『 ホームページを見て、8回出身の前野君よりメールが来ましたので紹介します。

日ごろ、我々が保護者会等で、事あるたびに言っている言葉が、社会人になった若手から出てきています。  
心強い言葉です。RS隊長 山口功 』



### 三指

こんにちは 以前杉並8団でお世話になりました前野と申します。私は約8年くらい前まで皆さんと一緒に活動しておりました。  
今回このHPを発見し活動記録を見ているうちに懐かしく思いメールさせていただきました。

私は就職がきっかけで活動に参加できなくなりましたが、一緒に活動していた皆様には本当に感謝しています。ボーイスカウト  
活動では、キャンプ生活は当たり前ですが、その他にもたくさん学びました。

例えばカブスカウト(いまはないのかな?)では「自分のことは自分でします」という約束をみんなの前で行い幼いながらに実行。  
ボーイスカウトでは一番下の見習い生活を経験して最終的には班長というリーダーとしての責任感や人(自分より弱い)に経験が  
浅い)の気持ちを考えながら物事進めていくこと勉強したり、シニアでは自分達で企画したものを実行するという社会で最低限  
必要なことまで若くして経験することができました。

なかなか、若いときはこんなように思いませんでしたが、今思うと本当にいい勉強を知らず知らず行うことができたのだとつくづく  
実感しています。

私も本来活動が続いていけばいまままでお世話になった分を返す年になってしまいましたが返せないのがとても残念です。

皆様の活動は休日など貴重な時間を使い大変ご苦勞されることだと思いますが、今後ともご活躍をあげながら見守っていき  
たいと思います。

弥 栄